

新しい組織決まる

6月30日臨時会で任期満了に伴う正・副議長の選挙が行われ、議長に大崎公孝、副議長に川上智子が選任された。

また、常任委員会・特別委員会・組合議員等の選任・選挙が行われた。

大崎公孝 議長



梅雨も明け、本格的な夏を迎えましたが町民の皆様にはお元気で過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、私こと去る6月30日開催の臨時議会におきまして、第7代議長に選出をされました。地方を取り巻く環境が一層厳しさを増す中、光栄に感ずるとともにその職責の重大さに身の引き締まる思いであります。

今回、津野町議会初の誕生となった女性副議長にも様々

な提言を頂き、共に子育て支援や女性の積極的な社会進出など政策を進めて参りたいと考えています。

平成27年度一般会計は約65億5千万円でスタートし、すでに郷地区集落活動拠点整備事業や葉山総合センター整備事業など懸案の事業が発注されたところであります。今後においても社会資本整備事業や道整備交付金事業など、町民の生活に直結した事業の推進軸になるとともに、十分なチェック機能を果たしていきたいと考えています。

さて、来夏の参議院選挙より選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられることとなりました。本年3月の定例会には中央小学校の6年生が議会一般質問を傍聴され、それぞ

れが感想文を寄せてくれました。社会教育の一環として有意義な機会ではなかったでしょうか。より開かれた議会を目指す私共としては、数年後に有権者となる中学生を含め、より多くの町民に関心を持っていただけるような取り組みをしていかなければならないと感じています。

池田町政が掲げるこれまでの融合の10年の検証と飛躍に向けたこれからの10年に何が必要なのか真剣に考えなければなりません。

地方創生、津野町版総合戦略策定まで残りわずかですが、庁内に出来た若手職員による3つのワーキングチームの議論に大いに期待するとともにこの活動をサポートできればと考えています。

内閣官房地方創生本部は計画策定にあたって地方議会の積極的な関与を求めています。町の将来に向け車の両輪となつて推進をして参りますので、ご意見を私ども議会にもお寄せいただければ幸いです。

町民の皆様には時節柄、ご自愛のうえご健勝にて過ごされますようご祈念申しあげ、

就任にあたりご挨拶と致します。



川上智子 副議長



暑さ厳しい折、皆様方にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

去る6月30日の臨時議会におきまして副議長に選任されました。暮らしに深く関わる地方議会での女性議員の役割は、ますます重要となつていると言われる中、私にとつては誠に光栄であると共に、責任の重さに身の引き締まる思いであります。

地方自治における首長と議会の関係についてよく「車の両輪」という言い方をされることがあります。首長と議会が歩調を合わさなければ行政は進まないという意味ですが、

私は少し違う考えを持っています。車に例えるなら首長は車体で議会はアクセルとブレーキだと思ふのです。議会がアクセルを踏めば車は前進しますが、暴走しそうになった時、議会はブレーキを踏んで止めなければなりません。議会を構成する議員は常に有権者の代わりに行政をチェックし、アクセルとブレーキを踏む判断を下さなければなりません。考えます。

初心を忘れず議長の補佐役として町政の推進と議会の公正かつ円滑な運営に誠実に努めて参る所存でございます。町民の皆様のご支援・ご協力をどうかよろしくお願い申し上げます。

○議長選挙		
大崎 公孝	6	票
山本 昇平	3	票
中越 一俊	1	票
○副議長選挙		
川上 智子	10	票